



●発行日／2023年10月1日

●発行者／東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

インターハイ(陸上競技部・柔道部・バドミントン部・水泳)出場!
高校吹奏楽部 吹奏楽コンクール・マーチングコンテスト(全国大会)出場決定!

TOP*NEWS

中等部吹奏楽部 東日本大会出場決定!
ダンス部 USA 新人大会 高校編成HipHop部門 第1位
弓道部 吉野 銀志君 関東大会出場!



～マーチングコンテスト東京都大会を終えて～

マーチングリーダー 3年1組 國枝 歩奈

私たち吹奏楽部は8月26日に行われた全日本マーチングコンテスト東京都大会において金賞を受賞し、11月19日に大阪城ホールで行われる全国大会に推薦していただきました。このような結果が得られたのは、校長先生をはじめ、教職員の先生や仲間など、たくさんの方々がサポートしてくださいましたおかげです。ありがとうございました。本番当日までつらいことや、なかなかうまくいかないこともありました。全国大会でも最高の演奏、演技ができるよう、精いっぱい頑張っていきますので、応援、サポートをよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

「2024年度 東海大学付属学校推薦型選抜適性審査」の結果、 29名が推薦候補者に決定

東海大学の付属学校推薦型選抜について、6月3日(土)に児童教育学部児童教育学科と教養学部芸術学科、10日(土)に医学部医学科、7月8日(土)に医学部看護学科、7月22日(土)と8月6日(日)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査がそれぞれ実施され、29名の生徒が合格し、推薦候補者に決定しました。それぞれの生徒は、1、2年生のうちからしっかりと適性審査に向けて準備をして、厳しい面接試験や実技試験を突破して合格を勝ち取りました。おめでとうございます。

現在、高校1、2年生で適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

付属学校推薦型選抜適性審査の合格者氏名(順不同)

田口 謙也	田代 愛華	長尾 蓮	吉原 麻央	林 実祈	小宮 愛梨	蛯子 愛心
牧野 玲美	木村 優杏	高橋 真凜	刈込 もも	石橋 茜	並木 唯菜	坂寄 加帆
小林 采花	渥美 貴未*	貴未*	泉 晴登*	桐敷 尚徳*	内山 美咲*	安原 玲愛*
尾瀬 美咲*	高木 遥*	佐藤 帆香*	安彦 瑞香*	須藤 礼名*	高山ひかり*	戸川 愛子*
常深 正泰*						

*の付いた生徒は特別奨励入学候補者

付属学校推薦型選抜適性審査合格者

学部・学科名	人数
児童教育学部 児童教育学科	10
教養学部 芸術学科	5
医学部 医学科	3
医学部 看護学科	10
工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻	1

部・同好会活動報告

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会 出場

インターハイを終えて

3年8組 木村 陸斗

8月2日に北海道で行われたインターハイの男子400mに出場しました。私は去年の夏まで長距離種目の練習をしていましたが、8月の大会から中距離種目に転向し最後のインターハイに向けて一生懸命練習しました。5月の都大会では400mを1位通過し南関東大会に進み、山梨では4位通過してインターハイへの切符を取ることができました。

北海道では強豪校が多く、体の大きい選手がたくさんいて、練習の姿を見ただけでも強いとわかり、緊張感が漂い圧倒される場所でした。結果は納得いく走りができずに目標の予選突破はできなかったですが、インターハイという最高峰の舞台で走ることができてよかったです。

ここまで来ることができたのは、先生方のご指導と、一緒に練習してきた陸上競技部の仲間や支えてくれた家族のおかげです。ありがとうございました。

次の目標はU20の参加標準タイムを切ることです。気持ちを切り替えて頑張ります。



部・同好会活動報告

柔道部

全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会 出場



目標としていたインターハイ

3年6組 鈴木 翔織

私は、8月10日に行われたインターハイに出場しました。結果は1回戦敗退という悔しい結果で幕を閉じました。インターハイ予選では、東京都はレベルが高く、自分が優勝することは難しいと考えておりましたが、これまでの練習の成果を存分に発揮することができ、ずっと目指してきたインターハイ出場が叶い、自信を持つことができました。インターハイへの出場が決定した後は、東京都代表としての自覚を持ち、日々の練習に励み、気持ちを高めていました。周囲からの称賛や応援の言葉は、私にとって非常に励みとなり、インターハイへの挑戦への意欲をさらに高められました。満足のいく結果とは言えませんでしたが、私にとっては貴重な経験となりました。大学進学後も、何事にも全力で取り組み、新たな挑戦をしていきたいと考えております。応援いただき、ありがとうございました。

バドミントン部

全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会 出場

応援を力に変えて

3年5組 服部 敏樹

8月20日、北海道で行われたインターハイに出場しました。力及ばず初戦敗退という結果になってしまいましたが、インターハイという憧れの舞台に立つという貴重な体験をさせていただき、本当に幸せでした。

私が入学した中学校ではバドミントン部がなく、高校に入学し初めて部活動に入りました。高校の部活動では、顧問の先生、チームメイトにも恵まれ、本当に素晴らしいチームに所属し部活動に励むことができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によって、大会は選手のみの参加の時期が長く続きましたが、今年の春から部員や卒業生、保護者の方も応援に来ていただけるようになりました。たくさんの方に支えられたことへの感謝を形で伝えて、練習を頑張ることができます。その結果がインターハイ出場につながったと思っています。私は大学でもバドミントン部に入部し、インカレ出場を目指そうと思っています。これからも感謝を忘れず、練習を頑張っていきます。たくさんの応援をありがとうございました。

「鼓動北の大地へ」



部・同好会活動報告

水泳

第91回日本高等学校選手権 水泳競技大会 出場 第63回全国中学校水泳競技大会 出場

初のインターハイを通じて

2年5組 伊藤 瑞海

8月17日から江別市にて行われた日本高等学校選手権水泳競技大会に出場し、100m背泳ぎで26位、200m背泳ぎで18位という結果を残すことができました。このたび、目標の1つでもあったインターハイに出場できたのは、これまで私の競技生活に寛大なご理解とご協力をしてくれている学校長をはじめ担任の村上先生、学年の先生方のサポートのおかげだと思っております。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で大会運営にも制限があり、当時担任だった近藤先生やたくさんの先生方にもサポートしていただきました。こうして日々競技に集中し無事大会を終えることができたのも、先生方のご協力やたくさんの応援があったからだと思います。本当にありがとうございました。今回の経験はこの先に結び付く貴重な経験となりました。

今後は新しい目標に向かって、感謝の気持ちを忘れずに努力していきます。



1つの目標

1年A組 三井 陽菜乃

私は8月17日に香川県で行われた、第63回全国中学校水泳競技大会の女子400mフリーリレーに出場しました。私の通っているクラブチームでは、全国中学に向け夏休み期間に合宿を行い、きつい練習も毎日諦めずに励んでいたので、今回全国中学の舞台に立つことができ、とても嬉しく思いました。

結果としては、狙っていたタイムには届かず予選敗退となってしまい、悔しい結果に終わってしまいましたが、今回1つの目標にしていた全国中学にたどり着くことができたので、良い経験になったと思います。

今年はリレーのみの出場になってしまいましたが、来年は個人種目でも出場することができるよう、これからも目標を持って、練習の1つ1つを大切にして頑張っていきたいと思います。

ダンス部・
同好会

USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会2023 EAST 高校編成HipHop部門 第1位

全員の力

2年9組 川本 日菜多

私たちダンス部・同好会は、8月19日に千葉ポートアリーナで行われたUSA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会2023 EASTへ出場しました。残念ながら中学校編成HipHop部門では入賞は叶いませんでしたが、高校編成HipHop部門において、第1位に入賞することができました。この結果は、私たちの努力だけでなく、皆さんからのたくさんの応援があったからこそ取れた賞だと思います。本当にありがとうございました。

私たち2年生にとって初めての1チームでの大会、練習ではたくさんぶつかり合ったり、悔しくて泣いたり、時には練習が嫌になることもあります。それでも、約1ヶ月間ずっと1位を目指し、部活動の決められた時間だけでなく、部活動の前後の時間で自主練するなど、たくさん練習してきました。その努力が実り、こうして1位という結果を残すことができ、嬉しく思います。次は冬に大会があるため、そこに向けてさらに高みを目指し、頑張っていこうと思います。また、今後は建学祭(10/7・8)や定期公演(11/14)の発表でも、感謝の気持ちを演技で伝えたいと思います。これからもダンス部の応援をよろしくお願いします。



中1・中2で心を1つに



和のティストで第1位

弓道部

第42回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 出場

追求

2年6組 吉野 銀志

私は、9月10日に行われた第42回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会に出場しました。初めて関東大会という大舞台に出場することができ、嬉しく思います。8月末の都大会で関東大会への出場権を獲得してから、普段の部活動よりもたくさん弓を引き、練習を積んできましたが、結果は予選敗退となってしまいました。あと1本的中していれば準決勝に進めていただけに、とても悔しかったです。残念な結果にはなっていましたが、普段から緊張感のある練習環境を整えてくれた顧問の先生や部員には、とても感謝しています。私は2年生で関東大会を経験できたことはとても良い経験であり、自分にとって大きな糧になったと思います。これからはこの悔しさを忘れずに練習を重ねて、さらに上を追い求め、来年はまた『飛躍』で、賞状とトロフィーを持った写真とともに活動報告をしたいと思います。

ここまで応援していただいた方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。



部・同好会活動報告

テニス部

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2023 出場

諦めない

3年4組 佐藤 達太

僕は8月に行われたユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2023に出場しました。小学生の頃からの夢が叶いました。小学4年生の頃からテニスを本格的に始め、ずっとこの大会に出場することを目標に、どんなに厳しい練習にも絶対に諦めないという気持ちを強く持ち、食らいついてきました。時間はかかりましたが、夢を叶えることができました。

今年の全日本開催地は有明だったこともあり、顧問の石堂先生や後輩たち、コーチや仲間、両親、多くの人たちが応援に来てくれました。結果は初戦で四国の相手に負けてしまいましたが、3時間強の試合を戦い抜くことができました。酷暑の中、応援してくださった皆さんのおかげです。皆さんの支えやサポートには本当に感謝しています。今年の夏の最高の思い出になりました。

次なる目標は、大学でインカレ出場、上位進出です。



GTEC検定版(2023年6月10日実施) 成績上位者一覧

本校ではEFSE(高1・2)ならびにCALL(高3)の定期試験としてGTEC(Global Test of English Communication:スコア型英語4技能テスト)検定版を実施しています。6月のテストにおいて優秀な成績を収めた生徒に対して(株)ベネッセコーポレーションより賞状が授与されましたので、こちらでご紹介します。なお、4技能合計で1000点以上を獲得した1年生2名、2年生7名、3年生12名につきましては、9月の朝礼において表彰を行いました。

次回実施は12月9日です。1点でも高いスコアが取れるよう、頑張ってください!



GTEC Basic 《1年》

▶4技能合計

9組 稲田 輪大 ★
10組 犬塚 湘平
八木 露香

▶Reading

9組 稲田 輪大 ★
10組 犬塚 湘平
八木 露香 ★

▶Listening

9組 稲田 輪大 ★
10組 オル ブリヤミ ★
八木 露香

◆スコア増加

5組 犬塚 湘平 ★
ほか9名

※対象は本校中等部出身者のみ

GTEC Basic 《2年》

▶4技能合計

1組 小暮 海優 ★
3組 生駒宝之心 ★
谷山 紗夏 ★

▶Reading

1組 小暮 海優 ★
2組 小池 海颯
10組 時 滉

▶Listening

1組 小暮 海優 ★
2組 小池 海颯
10組 島本 武周 ★

◆スコア増加

4組 松岡 太希 ★
ほか9名

GTEC Advanced 《3年》

▶4技能合計

1組 石川 風花 ★
2組 斎藤萌紅美
坂上希々桜

▶Reading

1組 石川 風花 ★
2組 小池 海颯
10組 中原 煙太 ★

▶Listening

1組 石川 風花 ★
2組 小池 海颯
10組 島本 武周 ★

◆スコア増加

4組 松岡 太希 ★
ほか9名

▶Speaking

1組 石川 風花 ★
2組 小池 海颯
10組 中原 煙太 ★

▶Writing

1組 石川 風花 ★
2組 小池 海颯
10組 中原 煙太 ★

★…本校において最も高いスコアを記録した生徒 ★…上限スコア(満点)を記録した生徒

希望を星につないで

~ aim your hopes towards the stars ~

留学生または在日年数が8年以内の生徒を対象とした高校生日本語弁論大会東京都予選が、6月3日に東京都立練馬工科高等学校で行われました。本校代表として出場した2年10組の時君が優勝、アフマド君が準優勝に輝き、2名とも関東甲信越静地区大会(動画審査)へと進みました。

アフマド君はここでも準優勝という成果を収め、地区代表に選ばれました。松山市民会館(愛媛県)で開催予定だった全国大会は、残念ながら台風6号の影響でオンライン実施となりましたが、画面の向こう側で聞いている聴衆に対して堂々としたスピーチを行い、国際交流基金理事長賞をいただくことができました。

2年10組 時 滉

日本語で弁論をした後、私の心は複雑な感想でいっぱいになりました。

まず、私は誇りと満足を感じています。なぜなら、私は成功して各種の困難を克服したからです。私の日本語はまだあまり充分ではありませんが、比較的簡単な日本語で自分の考えを表現することができるようになりました。これは大きな成果であり、私の学習の旅の中で重要なマイルストーンです。

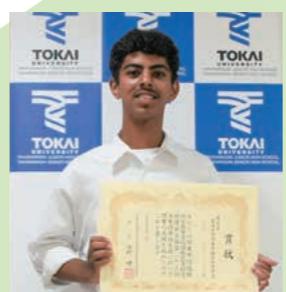
弁論中は緊張や不安を感じましたが、弁論が進むにつれて自信に置き換えていきました。しっかりと準備して自分を信じていれば、どんな挑戦も乗り越えられる気づきました。

同時に、先生や両親に感謝しています。私のために、いくつかの文法と間違った表現の文章を直してくれました。今まで知らなかった日本の文化をより深く知ることができ、素晴らしい方々と知り合うことができたことにも感謝しています。

最も重要なことは、この経験は私に言語を学ぶ決心をさらに強くさせました。この道が簡単ではないことを私は知っていますが、たゆまぬ努力を継続することを通じて、私は常に言語スキルを向上させ、世界中の人々とコミュニケーションを取りたいと思っています。



2年10組 アフマド アルシェッヒ



日本語弁論大会に出場することで、上には上がいると知りました。普通の外国人と比べて長く日本語を勉強している僕は、余裕で優勝できると勝手に思っていました。しかし、今思えば僕が優勝した大会は一つもありません。準優勝から上りつめ、全国では国際交流基金理事長賞を取ることができましたが、僕の日本語はまだ日本人には及んでいないと強く知られました。単語の並びや発音の正確さの素晴らしい発表者がとても多く、日本語をしゃべっている姿がかっこよかったです。特に全国大会では皆が日本語慣れしていて、発音も日本人並みの人ばかりでした。彼らの発表から、母国と日本が結ばれる理想が僕にも見えてきました。

日本語を学ぶ以外にも、他クラス・学年の生徒などいろいろな人と知り合ったり、留学生としての居場所を考えたりすることができました。日本語弁論大会と同時に開催された英語弁論大会や研究発表会には、未来を変えてくれるような人がたくさん出場していました。そのような人たちと会い、僕もそのような人になれるよう努力していきたいと思いました。ここで学んだことは一生の大切な思い出で、これを生かしてこれからも前へと進んで未来を変えていきます。

漢検2級合格!

6月9日に実施された2023年度第1回日本漢字能力検定(漢検)において、3年10組の須藤礼名さんが2級に合格しました。2級のレベルは高校卒業・大学・一般程度とされており、すべての常用漢字(2,136字)の読み書きなどが出題されます。

10月20日実施の第2回検定の申し込みはもう締め切っていますが、来年1月26日実施予定の第3回はこれから受け付けます。多くの生徒がより上位の級に挑戦することを期待しています。

なお、他の級の合格者数(および合格率)は以下のとおりです。

- 準2級(高校在学程度) 2名(9.5%)
- 3級(中学校卒業程度) 16名(45.7%)
- 4級(中学校在学程度) 7名(22.6%)
- 5級(小学校6年生修了程度) 40名(97.6%)



2023年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る」についてご紹介いたします。

実践目標

理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る

東海大学の付属校である本校は、東海大学の教育理念、建学の精神を実現するために教育活動を行っています。

東海大学は1942年に学園を創立。翌1943年静岡県清水市(当時)に、東海大学の前身である航空科学専門学校を開設したことに始まります。その後1946年に旧制大学令により東海大学が認可されました。「人文科学と自然科学の融合による確固たる歴史観、国家観、世界観を把握せしめる」これは、東海大学が当時の文部省に提出した大学許可申請書にある文言です。東海大学は、創立者松前重義が掲げたこの「文理融合」の教育理念に基づき、知識偏重教育を取らず幅広い視野と柔軟な発想力を持つ人材の育成を目指しています。

東海大学は、日本有数の総合大学であり、これまで文系・理系にわたって多くの学びの場を提供してきました。現在、文系・理系合わせて23学部62学科・専攻体制で教育を展開しており、多くの学生が全国のキャンパスで学んでいます。

東海大学の教育理念

本校の取り組み

創立者松前重義(1901~1991)の思い

松前重義は、天然資源に恵まれない日本が世界に貢献していくには、独創的な技術開発による科学技術立国の道を歩むほかはない、と考えていました。しかもその科学技術は人類の幸福のためにあるべきものだ、との思いは広島の原爆調査などの体験からますます強くなっていました。もはや科学技術は、扱い方を間違えれば人類を破滅に導くほどの力を持つに至ったのです。

そして、国の行方も人類の将来も、これに携わる人間の思想に左右されることを身をもって体験した松前重義は、かねてからめざしていた「思想を培う教育、文科系と理科系の相互理解をめざした教育」を東海大学のなかで実践していきます。

【学校法人東海大学ホームページ「松前重義と建学の精神」より】

東海大学の教育理念には、松前重義のこの思いが込められています。

SSH活動報告

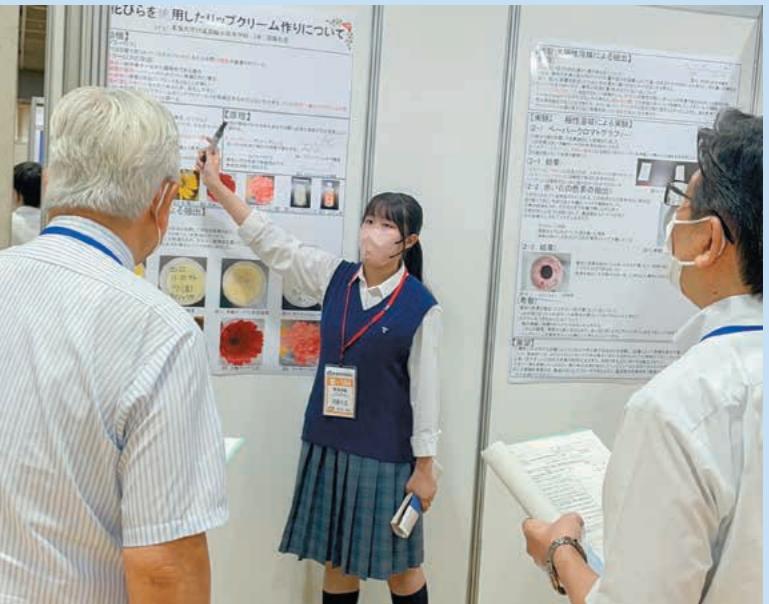
SSH生徒研究発表会の報告

8月9日・10日に神戸国際会議場で全国SSH生徒研究発表会が行われ、本校からは3年10組の須藤さんが「花びらを利用したリップクリーム作り」というタイトルで研究発表に参加しました。全国のSSH指定校が集まる大きな発表会に参加した須藤さんの感想を紹介します。

全国SSH生徒研究発表会に参加して

3年10組 須藤 礼名

全国SSH生徒研究発表会で、研究に対する意識が大きく変わりました。全国規模で開催された今回の発表会ではたくさんのSSH指定校が集まり、自身の研究内容を発表していました。私もそのうちの1人として発表しましたが、たくさんの発見がありました。ポスター発表を聞きに来てくださった人の質問から自分の研究内容、これからのことについて深く考えるきっかけになり、自分の勉強不足を痛感しました。他の人の発表を聞き、研究の着眼点が面白かったり、難しい研究をしている人が多くいたことに驚きました。課題研究の時間は残り少ないので、これからも自分の研究に真摯に向き合っていこうと思えた、とても有意義な発表会でした。



科学体験学習旅行を通じて

高校1年生サイエンスクラスは科学体験学習旅行で、8月22日にJAXA筑波宇宙センター・産業技術総合研究所に、8月23日に那珂研究所で施設見学及び研修を行いました。研修を通じての感想を紹介します。

研修を通して考えたこと

1年10組 鈴木 風



JAXA、那珂研究所ともに普段から見学できるような場所ではないので、今回研修を通じて見学できたこと、とても嬉しく思います。どちらも普段の生活やニュースからあまり自分の身に近いようで遠い存在に感じていましたが、現場に行って第一線で奮闘する皆さんの方を受け止めたことで、意外にも自分の生活のとても近いところにあるんだなと実感しました。核融合などは、特にこれから日本だけでなく世界のエネルギー問題を解決する主軸となっていくであろう

学年だより 中1

～夏休み中の部活動について～

中等部生活初めての夏休みに入り、暑い中熱心に部活動に励む姿が見られました。それぞれ夏休み中に体験したことを紹介します。

物理化学部



左から1番目が田中君

フィールドワークに参加して

A組 田中 駿太郎

夏休み中、物理化学部は葛西海浜公園、お台場海浜公園、大井ふ頭中央海浜公園、等々力渓谷・多摩川でフィールドワークを行いました。フィールドワークでは、マイクロプラスチック採集や生物観察を行いました。マイクロプラスチックは、潮が満ちてくるところに多く落ちていて、想像以上にとても多く海に流れていることがわかりました。

この活動を通して、普段の生活からマイバックの使用や水筒持参など、一人ひとりの意識と努力が海の環境保全につながると思いました。私もこれらを継続しつつ、少しでも環境を良くするためにゴミを減らす努力をしていきたいです。



ソフトテニス部

苦手を克服する

B組 小泉 莉央



私が夏休み中に頑張ったことは、先生や先輩たちとのコミュニケーションです。私は自分から話しかけたり、コミュニケーションを取るのが苦手です。そのため、初めての合宿で先生や先輩たちにわからないことを聞くことができませんでした。コート内で練習している時もバックの打ち方がうまくできず、先輩に質問したくてもできませんでした。結局先輩の打つ姿を見て真似しながら学び、すぐに聞けない自分が情けなく後悔しました。

それからは、後悔のないよう少しずつ自分から先輩に声をかける努力をして、今では雑談もできるようになりました。部活動だけでなく、わからないところは、進んで質問するようにしています。



右から2番目が宮澤君

サッカー部

夏休み期間の練習

B組 宮澤 歩来

私の所属するサッカー部は、学校の隣にあるテニスコートで練習をしていますが、夏休みはさいたま総合グラウンドで練習しました。コートが広く、何度も走り込みました。炎天下の中、とてもつらかったです。目標を達成できた時は、暑さも吹き飛ぶくらいの嬉しさでした。また、夏休み中は長野で合宿もありました。合宿中の目標は、オフサイドを取り難くし、ベストなタイミングで抜け出すことです。これは周りの状況を把握しなければいけないため、首を振ることを頑張りました。それでも仲間とのタイミングが合わなければ、オフサイドを取られてしまうので、声かけしながらパスがもらえるよう努力しました。他にもいろいろ学ぶことができ、今後の練習につなげていきたいです。

サイドを取り難くし、ベストなタイミングで抜け出すことです。これは周りの状況を把握しなければいけないため、首を振ることを頑張りました。それでも仲間とのタイミングが合わなければ、オフサイドを取られてしまうので、声かけしながらパスがもらえるよう努力しました。他にもいろいろ学ぶことができ、今後の練習につなげていきたいです。

学年だより 中2

Precious Three Days ~English Summer Camp~

中等部2年生全員は、夏期休暇中の8/16～8/18に河口湖畔で13の国々のグローバルリーダーと英語のみで過ごすプログラムに参加してきました。出発前は緊張の面持ちの生徒が、みるみるうちに目が輝き、前のめりにリーダーの話を聞き、必死に英語で伝えようとしている姿があり…たくさんの素晴らしい経験ができました。

3日間の成長と経験

A組 五月女 空雅

この3日間を通して学んだことは、伝わらないことを恐れず英語を話すことです。行く前は、外国人とちゃんと英語で話せるか不安な部分がありました。しかし、今まで習った英語を駆使し、ジェスチャーを使ったりして伝わって嬉しかったし、積極的に手を挙げ、ステージで発言することができたのは、とてもよかったです。

特に楽しかったことは、「シュウマイじょんけん」で他の人とかぶらずに形を出せたことや、「バナナダンス」をみんなで楽しく踊れたこと、「ビンゴゲーム」で3位に入賞することができたことなど、いろいろ思い出を作ることができました。

この3日間で成長できたと思うことは、例え相手に伝わらなかったとしても、今まで習った英語で相手に伝えようという意思を持つ大切さを学ぶことができたので、とても有意義な時間になりました。それと同時に、来年行く予定のオーストラリア研修の自信にもつなげることができました。

成長

A組 山本 心和

グローバルリーダーに初めて会った1日目が少し緊張してあまり話せなかつたけれど、2日目からは慣れてきて、リーダーの方も優しく話しやすかったので、英語で会話ができるようになりました。全員で行うゲームや班で行うジェスチャーゲームなど、英語のゲームがたくさんできて楽しかったです。

他には、班のメンバーでチーム名を考えたり、チームのフラッグを作ったり、プレゼンテーションをしたりする活動をしました。私たちの班のメンバーは自分から意見を出す人が少なかったので、そういう活動に苦戦しましたが、中でも一番楽しかったのは謎解きゲームで、班のメンバーで、館内で問題を探して解く人と調べる人と書く人という役割分担をして解くのです。

この3日間で、グローバルリーダーとも積極的に話すことができるようになってよかったです。3年生のオーストラリア研修に向けて、今後も英語の勉強を続けていきたいと思います。



English Summer Campを終えて

B組 内野 萌歩

今回私たちは、英語を使いながら2泊3日を過ごしました。英語のみの生活になってしまふとやはり難しい部分や、先生やリーダーさんたちに伝わらなかつたことがあったので大変でした。しかし、今まで学校の授業で習ってきた英単語や文法を実際に外国人に使うことができるいい機会だったので、わからなかつた部分をグループメンバーと協力して考えることができたのが嬉しかったし、達成感につながつたと思いました。

他にも宝探しのクイズで英語の問題を解くと、読む力も身につけられたと実感しました。

今回のサマーキャンプで、グローバルリーダーさんやグループのメンバーと仲が深まり、たくさんの思い出ができたよかったです！

Fulfilling Memory

B組 茨田 流来

I have experienced many things over the past three days.

On the first day, we played on overseas game called "Shumai Rock-Paper-Scissors".

On the second day, we deepened our relationships with the global leaders and friends asking each other questions in a bingo game.

After that, we practiced the presentation to be done on the third day.

On the final day, we gave our presentations.

I was so nervous that I couldn't speak fluently, but after finishing, I felt very proud of myself.

The three days were very fulfilling.

学年だより 中3

～頑張り抜いた3年間～

中等部での生活も残り半年となりました。

中等部3年間での頑張りと、高校に向けての意気込みを書いてもらいました。



男子バスケットボール部 趣味から始めたバスケットボール

A組 谷 海翔

僕がバスケットボール部に入部した理由は、小学校の時に趣味でバスケットボールをしており、中等部でも続けたいと思ったからです。

3年間バスケットボール部に入っていて学んだことは、何事にも最後まで諦めないことや、どんなことにも全力を尽くすことです。

バスケットボールは点差が一気に開いたり、点数が競り合うこともあります。点差がついても最後まで諦めずにプレーすることで、勝てることがあったので、最後まで諦めないこの大切さを学びました。また、練習の時にどんなことにも全力を尽くすことで、大会で勝ち進むことができました。

高校でも最後まで諦めず、全力を尽くすことを忘れずにバスケットボールをしたいです。



ダンス部 6人で支え合った3年間

B組 國友 旺汰

僕がダンス部の3年間で頑張ってきたことは、「仲間との絆を深め、見ている人に最高の踊りを届けること」です。ダンスは、見ている人に感動を与えることができるものだと僕は思っています。そのため、踊る時は、常に見ている人が笑顔で楽しめるように全力で演技をしてきました。時には、チームの6人で壁にぶつかることもありましたが、ぶつかるたびに必ず6人で支え合って乗り越えてきました。今では、最強の6人だと思っています。そして、チームの5人が僕の中でかけがえのない存在です。そんな大事な5人と過ごした3年間は、あっという間で、忘れない思い出になりました。

高校生になったら、今まで以上に周りの人に笑顔と勇気を届けられるような力強い踊りができるよう頑張りたいです。そして、さらなるダンススキルの向上を目指して、この先の3年間も頑張っていきたいです。



吹奏楽部 授業では学べないこと

B組 三ヶ尻 圭秀

僕が吹奏楽部に入った理由は、音楽への興味があつたからです。僕は幼少期から音楽が好きで、中等部でも音楽を続けたいと思い、吹奏楽部に入部しました。

僕がこの3年間で頑張ったことは、大きく分けて2つあります。1つ目に楽器の練習に取り組み、技術を上げることを目指しました。実力は音にそのまま表れるので、成長を実感することができました。

2つ目に、部活動の士気を上げるためにたくさんのことに気を付けました。全員が明るい気持ちで部活動に取り組めるようにするために、一つ一つの言葉や行動に気を付ける必要がありました。これにより、人との接し方の難しさや、共同作業の重要性を実感しました。

吹奏楽部での3年間は、個人の成長に加え、チームワークの大切さを学ぶ貴重な経験になりました。この経験は、僕の将来にも役立つ経験になると思います。



サッカー部 大切な仲間

A組 佐藤 太智

僕はサッカー部の3年間で、仲間の大切さを深く知ることができました。

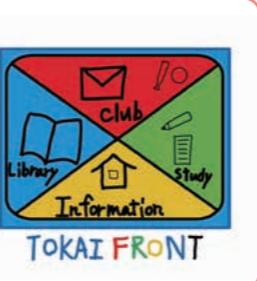
部活動では、あと一勝で支部大会に出場できるというところまで頑張れてよかったです。あと一步のところで破れてしましましたが、僕はチームメイトと一緒にサッカーができてよかったですと感じています。「全員でチームだ」ということを顧問の鈴木先生が常に言葉にしていました。鈴木先生の言葉は体育祭で頑張っている時にも感じました。優勝こそできませんでしたが、みんなで円陣を組んだり、みんなで無我夢中になって応援をしたら、すべてが楽しかったです。それはA組のみんながいたからだと思います。

高校に入ったら、今いる仲間たちとは離れてしまうけれど、また新しい仲間たちを大切にして、上を目指して頑張りたいと思います。

学年だより 高1

学校生活をより豊かにするアプリ

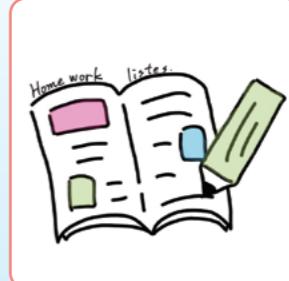
1学年で実施している高校現代文明論（総合的な探究の時間）では、知的財産の尊重と創造について体験的に学んでいます。講座のまとめとして「学校生活をより豊かにするアプリ」のアイデアを全員で考えたところ、素敵なかたちがたくさん生まれました。以下にその一部を紹介します。



1組 中木 一誠

「TOKAI FRONT」

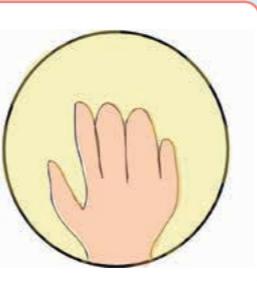
このアプリには4つの機能があり、Libraryでは東海系列の学校にある図書館の蔵書検索と予約ができます。Clubは部活動の連絡やスケジュール管理などです。Studyはテストの点数が記録でき、勉強のスケジュールを作成して通知する機能が備わっています。Informationには食堂の混雑具合、売店に販売されているものの在庫、頭髪検査日の通知など幅広い情報がわかります。



2組 能勢 春日

「課題ぱっと見!!」

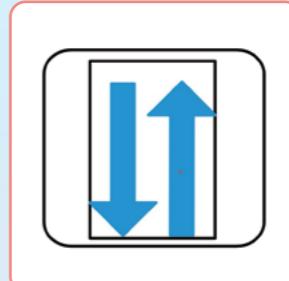
中学生の時とは全く科目数が異なり、自分で管理するのが結構大変なので、課題の提出状況などを一括で見ることができるようなアプリが欲しいと感じました。



3組 中山 礼

「先生質問です!」

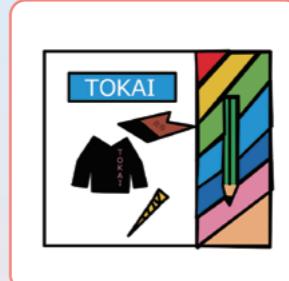
授業中にわからなかったことを先生に質問することができるアプリです。先生は生徒の質問に答えるとポイントをゲットすることができ、ポイントが貯まると自動販売機や食堂で商品と交換できます。



5組 伊藤 里桜

「ROCK」

自分の靴箱やロッカーカギをなくす人が多いため、このアプリを入れておけば、ピッとスマートカードをかざすだけで簡単にかぎ安全に管理することができます。



6組 岩崎 韶貴

「印象的! TOKAIグッズストア」

このTOKAIストアは、さまざまなグッズを見ることができます。自分のオリジナルのグッズのアンケートがあり、応募して認められると、そのグッズを短期間で販売することができます。



7組 木藤 慎之介

「落とし物」

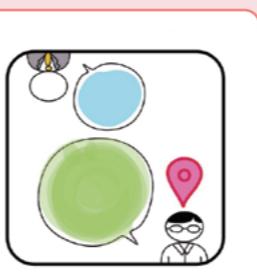
校内のごみや落とし物を拾うとポイントが貯まり、貯まったポイントで商品と交換できます。拾った物品の大切さや、なくなっていた期間の長さに応じてボーナスがつくアプリです。



8組 小林 美波

「KOBAY -ONLINE-」

購買のパンや飲み物などがアプリで買えます。あとは受け取りに行くだけなので、4時間目に授業が終わって急ぐ必要もなく、並ぶ時間も短縮できます。



9組 佐藤 涼

「東海ティーチャット」

先生がどこにいるのかわからなくて学校内を探すのが大変なので、先生の位置情報がわかつたり、先生のところに直接行かなくても先生とメールで話したり、部活動などでグループを作ってメールができるアプリです。アプリ名はティーチャーとチャットを合わせてみました。



10組 山口 琴未

「Go!Go!かくれんぼ☆」

先生たちが空いている時間や空いている教室が一目でわかるアプリです。テスト前や授業でわからないことを放課後聞きに行きたい時に、どこに先生がいるかわかつたり、部活動で勉強会をしたりする時に空き教室を使う高輪台にはピッタリのアプリです。

学年だより 高2

オープンキャンパス

高校2年生は、9月9日に東海大学湘南キャンパスにて行われたオープンキャンパスに参加してきました。興味のある学部・学科の説明を聞き、進路を考える上で、とても有意義な時間となりました。

オープンキャンパスに参加した生徒からアンケートをとり、感想を聞いてみました。

自分が参加した学部・学科の説明で一番印象に残っている内容は何ですか？

A

理学部 情報数理学科

AIがどのように作動しているのか、ChatGPTの中身など、知らないことをたくさん知ることができた。将来自分がどのような仕事につくのか、未来が楽しみになった。

情報理工学部 情報メディア学科 教養学部 芸術学科

授業やカリキュラムの紹介はもちろん、実際に今大学1年生の先輩や教授方のリアルな声や、空きコマの過ごし方などの日常のことも紹介していただきました。

建築都市学部 建築学科

OBの方と先生から話を聞いて、もっと建築に対して興味を持った。OBの方は自分の会社で作った家を何個か紹介してくれた。いろいろな工夫と面白みがあって、勉強になった。また、自身が高校2年生の時の話もしてくれて、自分の考えと照らし合わせて考えることができた。

児童教育学部 児童教育学科

1年生から4年生まで実践プログラムというものがあり、頻繁に子どもと関わることができる。また、その実践プログラムの手配は自分で行う必要があり、自分で小学校や保育園に電話をかけなければならないという話が、一番印象に残っています。

●もともと知っていたことより詳しい内容を説明してもらい、進路を選択していく上で役立つことがたくさん聞けたこと。

●授業や雰囲気を知ることができて、イメージが膨らんだこと。

●実際にOBの方の話を聞いて将来への展望を考えてよかったです。

●どのような資格が取れるかよく知れたこと。

●パンフレットだけでは分からず実際の状況など、行かないといふことを知れた。自分の行きたい学部が、オープンキャンパスに行く前より明確になってきた。

●実際に大学で何を学びたいかも重要ですが、卒業後どうなりたいかなどがより重要であり、それを考えるための材料をたくさん得られたこと。

Q

オープンキャンパスに参加してよかったです。

A

真剣に説明を聞いています 健康学部健康マネジメント学科の様子 文学部英語文化コミュニケーション学科の様子 体育学部競技スポーツ学科の様子

学年だより 高3

卒業まであと半年

3年生は残り半年で高輪台高校を卒業します。今回はクラスの代表に、卒業までにどんなクラスにしたいかを書いてもらいました。悔いなく高校生活を終えられるように、日々大切に過ごしてください。

1組 副級長 佐野 美久

私たち1組は、卒業までにさらに明るく楽しく、信頼し合えるクラスにしたいです。そのためには、まず建学祭を頑張りたいです。今年の1組の出し物は和装体験です。1,2年の時は例年通りの建学祭ができなかったので、今年は最後の建学祭でもあるのでクラス全員で一丸となって建学祭に向けて準備を進めていきたいです。この49人で過ごせるのも残り半年しかないので、今ある時間を大切に、たくさん思い出をつくっていきたいです。

2組 級長 山下 卓文

卒業まで残り半年に迫った今日この頃、2年の月日が自分たちを自分たちらしめる色に染め、良かれ悪かれ「2組らしさ」を2組の誰もが詳らかに説明できるクラスになったと思う。後期には建学祭という最後のクラス全員参加の大イベントがあるが、そこで自分たちの集大成に相応しいものができるよう心がけ、卒業まで初心を忘れず全力で駆け抜けたい次第だ。

3組 副級長 鈴木 梓未

私たち3組は、男女問わず仲が良く、和気あいあいとした明るいクラスです。行事の際はどのクラスよりも熱くなり、全員が全力で取り組むことで楽しさを共有し、絆を深めています。10月は建学祭や体育祭などの大きな行事がありますが、普段の生活でもお互いに高め合っていけるクラスにしていきたいと思います。残りの6ヶ月、一人はみんなのために、みんなは一人のために、何かをすることができるクラスを目指して過ごしていきます。

4組 級長 林碧生

高校卒業までの半年間は、クラスの友達との素晴らしい思い出を作る絶好の機会だと思います。学業の方も大事ですが、建学祭・移動体育・スポーツ大会とクラス全体で楽しめる行事がまだまだこれからたくさんあるので、楽しめるところはとことん楽しんで、学業とのメリハリをつけてクラス活動、学業とともに充実した学校生活を送れるようにクラス全体で協力していきたいと思います。

5組 級長 福島 瑞那

5組は男女分け隔てなく仲の良いクラスです。2年間同じクラスであるということもあり、行事などの団結力がとても強いです。卒業までにまだ建学祭や体育祭などの大きな行事が残っています。その行事でも強い団結力で大成功を収め、全員がこのクラスでよかったですと思えるようにしたいです。高校生活も残り半年となりましたが、5組でたくさんの思い出を残して、笑顔で卒業できるようにしたいです。

7組 級長 相馬 理吏亞

7組は楽しく明るいクラスです。引き続き卒業するまでの学校生活でも、みんなが明るく過ごしやすいクラスをつくりていきたいと思います。しかし、メリハリがつかない部分が今でも何力所があるので、その部分をなくしていくようにクラス全体でも意識を高め合っていきたいです。自分たちにとって学校生活が充実したものになるように、気遣いや思いやりのある温かいクラスにしていきたいです。

9組 副級長 永井 彩花

残り約半年、制服を着るものあとわずかです。9組は今まで以上に仲を深め、まとまりのあるクラスを目指せたらいいなと思います。そのためにクラスでもレクをして、クラス全体で盛り上がりたり、これから建学祭や体育祭など高校生活最後のイベントも待っています。コロナ禍で我慢した分を今！思いっきり楽しんで思い出を濃く密に、さらに仲を深めたいです。大人になっても思い出せるクラスにしていきたいと思っています。

8組 副級長 鈴木 爽太郎

3年の前期が終了し、後期へと差し掛かろうとしています。私たち8組は、次なる行事にクラス全員で団結をし、向かっていこうとしています。楽しい行事がある反面、受験という人生の中で大きな分岐点を控えているクラスメイトもいます。そのため、この先私たちに必要とされるものはメリハリだと思います。学習をするときはする。行事は全力で取り組む。遊ぶときは全力で遊ぶ。卒業までそのようなメリハリをつけるクラスにしたいです。

10組 級長 森内 健史

10組は他のクラスとは違って3年間、クラス替えがありません。そのため、仲が良く誰もが笑顔でいられるクラスになっています。これからはさらに仲を深めるために、朝の時間を使って自己紹介1分間スピーチを日替わりでしたりして、お互いのことをより深く知り、残りの学校生活での思い出をつくりたいです。今後も級長としてさまざまなことを企画、提案をしてクラスを巻き込み、率先してより良いクラスをつくりたいです。

お知らせ(建学祭関連)

2023年度 第59回 建学祭 知財グランプリ開催!

建学祭に出展するクラス(高等学校・展示部門のみ)のうち、最も創造性と主体性を発揮した団体が表彰されます。

〈審査項目〉

- ①内 容** ……工夫している点、こだわり
- ②取り組み** ……クラス全体の雰囲気、おもてなし
- ③装 飾** ……飾り付けなどの工夫
- ④ポスター** ……デザイン・キャッチコピーなど

グランプリ目指して一致団結、頑張ろう!

お詫びと訂正 | 『飛躍』9月号P9(中等部体育祭ページ)の名前の表記に誤りがありました。誤「五島 凜さん」→正しくは「五島 凜さん」です。お詫びし訂正いたします。

行事 予定

※予定が変更になる場合があります。

October **10** 月

- | | |
|--------|--|
| 1日(日) | 学校説明見学会(高校)④ |
| 2日(月) | 後期始業式 短縮授業 |
| 3日(火) | 振替休日(10/8分) |
| 4日(水) | 短縮4限授業 建学祭開祭式(4限終了後)
5-6限カット(9/30分) |
| 5日(木) | 建学祭準備(～6日) |
| 7日(土) | 第59回建学祭(～8日) |
| 9日(月) | スポーツの日 |
| 10日(火) | 短縮4限授業 建学祭閉幕式
5-6限カット(10/7分)
校医相談日⑥ |
| 12日(木) | スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)
雨天延期時は授業日 |
| 14日(土) | 水泳実習②(中等部) |
| 17日(火) | 第22回高校体育祭(中等部:特別時間割)
(さいたま総合グラウンド、雨天延期時は授業日) |
| 19日(木) | スポーツ大会予備日①(高3:さいたま総合グラウンド)
雨天延期時は授業日 |
| 20日(金) | 漢字検定②(中等部) |
| 24日(火) | 第22回高校体育祭予備日①
(実施済みおよび雨天延期時は授業日) |
| 26日(木) | スポーツ大会予備日②(高3:さいたま総合グラウンド)
雨天延期時は授業日 |
| 28日(土) | 特別時程(中等部)
特別時程SSH成果報告会(高校) |
| 30日(月) | 生徒会立会演説会(1限アリーナor放送) |
| 31日(火) | 第22回高校体育祭予備日②
(実施済みおよび雨天延期時は授業日) |

November **11** 月

- | | |
|--------|--|
| 1日(水) | GTEC Junior受検日(中1)
東海大学建学81周年記念日 |
| 2日(木) | 高輪台高校創立79周年記念式典
朝礼・短縮授業 1時間目カット |
| 3日(金) | 文化の日 |
| 4日(土) | 一斉公開授業② |
| 5日(日) | 学校説明見学会⑤(高校) |
| 6日(月) | 一斉公開授業②(高校) |
| 7日(火) | 生徒自宅学習日 |
| 8日(水) | 外部実力試験(中等部)
学園高大連携総合試験・基礎力判定テスト(高校) |
| 9日(木) | 作文コンテスト(中等部)
付属推薦小論文試験・小論文コンテスト(高校) |
| 12日(日) | 学校説明見学会④(中等部) |
| 13日(月) | 一斉公開授業②(中等部)
1～3時間目合唱祭(中等部) |
| 14日(火) | ダンス部定期公演(大田区民ホール・アプロコ:大ホール)
校医相談日⑦ |
| 20日(月) | 生徒による授業評価アンケート③ |
| 23日(木) | 勤労感謝の日 |
| 27日(月) | 生徒自宅学習日 |
| 28日(火) | 後期中間試験(高1・2:1日、中等部:～29日)
卒業試験(高3:～1日) |
| 30日(木) | スポーツ大会 AM(中等部)
キャリア教育 PM(中等部) |

編集 後記

このたび、本校は独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)の「知財力開発校支援事業」に参加することとなりました——というと何やら難しそうに聞こえますが、要は特許や実用新案、意匠・商標などを保護・活用したり実際に創造したりする先駆的な授業を行っていくということです。実は本校生徒(当時)が発案した和菓子が今秋に発売されるなど、これまででも知的財産に関する教育を実施しているのですが、この取り組みをさらに前進させていこうというわけです。活動の詳細につきましては本誌でも紹介する予定ですので、お楽しみに! (の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>